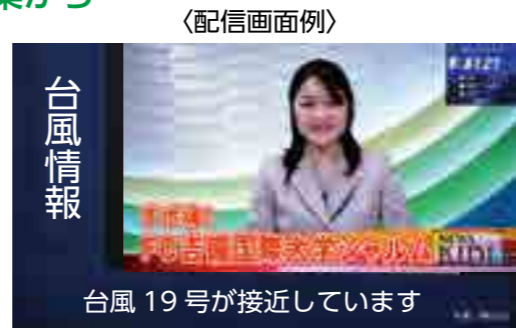


■災害から身を守るために 対策の第一歩は情報収集から

・吉備ケーブルテレビで緊急災害情報を確認しましょう

台風、地震、水害など大規模災害発生時や災害が予想される時に、吉備ケーブルテレビ121チャンネルで緊急情報を配信しますのでご確認ください。
テレビ放送の左と下に情報が表示されます。



・メール配信サービスを利用しましょう

気象情報や市が提供する避難指示などの防災情報を入手するため、メール配信サービスを利用しましょう。※登録が必要です。

登録メールアドレス【e-takahashi@xpressmail.jp】 登録用QRコード⇒



※提供している主な情報

気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風、大雪、地震情報、土砂災害警戒情報）
防災・防犯情報（避難指示、避難勧告、不審者情報）、火災情報など

・岡山県総合防災情報システム (<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>) から正確な情報を集めましょう

気象情報	<ul style="list-style-type: none"> 5キロメッシュで1時間雨量の情報が分かります。 6時間後までの降水予想が動画で表示されます。 警報、注意報の発令状況が確認できます。 天気図や台風情報など、各種気象情報が提供されています。
観測情報	<ul style="list-style-type: none"> 高梁川や成羽川の水位状況が分かります。 ダムの放流状況が分かります。 市内の雨量観測点の状況が分かります。



■土砂災害から身を守るために 前兆を見逃さないようにしましょう

・土砂災害の種類と前兆現象

種類	前兆現象
崖崩れ	<ul style="list-style-type: none"> 崖から流れてくる水が濁る 崖の上から小石がパラパラ落ちてくる 崖から水が湧きだしてくる 崖に割れ目や裂け目ができている
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> ため池、用水路、井戸水の急激な減水 局部的な沈下、隆起、亀裂の発生 傾斜に段差や亀裂が生じている
土石流 鉄砲水	<ul style="list-style-type: none"> 木立の裂ける音、巨大な石の流れる音が聞こえる 雨続きなのに、川の水位が急激に減少 溪流付近で落石や斜面の崩壊が発生 川の流水が急に濁りだし、流木等が混ざりだす

・土砂災害警戒情報に注意しましょう

県では、土砂災害警戒情報を補足する土砂災害危険度情報 (<http://www.d-keikai.bousai.pref.okayama.jp>) を提供しています。※携帯電話からもアクセスできます。

■道路や農地などが被災した時の連絡先

道路や農地などが被災（崩土、倒木、路肩崩壊等）した場合は、下記へご連絡ください。

被災の種類別	担当課（連絡先）		
	高梁・有漢地域	成羽・川上・備中地域	夜間・休日
市道、河川	建設課 ☎(21)0232	西部土木事務所	☎(21)0200
農地、農道、農林施設（ため池、水路等）	農林課 ☎(21)0222	☎(45)4513	

できることから 防災対策を進めよう！

東日本大震災や阪神・淡路大震災のように、いつ、どこで大規模災害が起こるかわかりません。災害の少ない地域と言われる高梁市でも、これまでに台風などで市内の一部に避難勧告が発令され、家屋や道路、農地などが大きな被害を受けています。災害が発生した場合、市役所・消防・警察などの行政機関は、全力で救援活動にあたります。一人一人が日ごろから災害に対する意識を強く持ち、いざという時に備えるために防災対策を進めましょう。

■問い合わせ 総務課行政係 ☎(21)0205

県消防防災ヘリコプター「きび」の訓練の様子（5月4日・川面町）



防災対策は「高梁市防災マップ」をご覧ください。

この防災マップは、大雨によって高梁川、成羽川の水があふれた場合に予想される浸水範囲と水深、土砂災害による危険区域、避難場所、公共機関等を示したものです。いざというときに備え、大雨による浸水やがけ崩れのおそれのある場所などを理解しておき、避難場所までの経路の確認をしておきましょう。（お手元がない場合は、市ホームページからも見ることができます。）

■避難の知識 自分たちの身の安全は、自分たちで守ろう！

<事前準備>

・避難場所、避難ルートを確認しましょう

近くの避難場所を確認し、避難の経路を考えておきましょう。勤務先や通学先での避難場所も確認しておきましょう。

・連絡方法を決めておきましょう

災害用伝言ダイヤル（☎171）や災害用伝言板（パソコン、携帯電話）など、災害時の連絡手段が充実してきました。いざというときの連絡方法をあらかじめ家族で確認しておきましょう。

・非常用品の用意

食料や懐中電灯などの非常用品をあらかじめ用意し、非常持出品をまとめておきましょう。

<災害が発生したとき>

・まずは、身の安全の確保！避難したら戻らないこと！

災害が起きてから持出品の準備にとりかかってはいけません。一刻も早く避難しましょう。そして、一度避難したら、大事なものを忘れていても取りに帰るのは危険です。

・避難時の注意点

安全で動きやすい服装（頭を保護する。ひもで締められる運動靴で避難する）
足元に注意（水の深さに注意する。マンホールや側溝などを避ける）
隣、近所で声を掛け合って避難（単独行動は避ける）
災害時要援護者の安全確保（早めの避難）

・自主避難した場合は、連絡をお願いします。

自ら判断して避難する場合は、市役所代表電話（☎(21)0200）かお近くの地域局へ連絡してください。避難所の開設等、職員が対応します。